

1 球磨川サイクリングコース

人吉市、錦町、多良木町、湯前町、あさぎり町

人吉市から湯前町までの球磨川サイクリングロードを中心に、のんびりと日本遺産に認定された人吉球磨の歴史・文化財を堪能できるコース。



人吉城跡

相良家700年の本拠の城跡で現在は石垣のみが残る。別名「織月城」と呼ばれ、球磨川と胸川を天然の外堀とした中世の山城。天守閣は存在しないが、「川の城」にふさわしい水の手門、「はねだし（武者返し）」の石垣は全国的にも珍しく、2006年に日本百名城の一つに選ばれている。



覚井観音

相良三十三観音札所のひとつ。本尊は十一面観音菩薩坐像で安産や家内安全にご利益があるといわれている。あさぎり町須恵には、同じ二十二番札所が二か所ある。



青蓮寺阿弥陀堂

分厚い茅葺き屋根の阿弥陀堂は、鎌倉時代の厳かで重々しい様子を今に伝える代表的な木造大建築で、1994年から3年にわたり改修された。堂内に安置されている阿弥陀如来三尊像とともに国の重要文化財に指定されている。



2 錦町から湯前町 周回コース

錦町、多良木町、湯前町、あさぎり町

球磨川沿いをのんびりと楽しみながら、人吉球磨の豊かな自然や御利益スポットも併せて楽しむことができるコース。



市房山神宮下宮 (里宮神社)

市房神社の遙拝所。恋愛成就にご利益があると言われている。恋人と一緒に参りして、本殿の正面から右と左にそれぞれに分かれて巡り、裏で出会うと二人の絆が深まるとか。縁結びグッズもあり。チェーンソーアート世界チャンピオンの城所ケイジ氏の木彫の十二支が奉納されている。



谷水薬師堂

日本七大薬師のひとつ。山門に立つ「仁王像」に噛んだ紙つぶてを投げて、自分の病んでいる所にくっつくご利益があると言われている。本堂裏手には病に効くという湧き水「月光水」がある。また縁結びにも御利益があると言われている。年4回大祭が開かれ多くの人々が参拝に訪れる。



湯前まんが美術館

湯前町出身の政治風刺漫画家である故・那須良輔氏の偉業を保存・展示しようと開館。地元産の杉と檜を使用した木造建築で入り口の上部がせり出した庇を特徴とする木構造。企画展示、全国公募の風刺漫画コンクールも好評。

人吉球磨サイクリングロードMAP



App Store

人吉・球磨観光アプリ

観光地の検索、観光のモデルコースの紹介、くまモンと記念撮影、人吉球磨地域の各地を巡るポイントラリーなどが楽しめます。各サイクリングルートマップ上で確認しながら走行できるルート詳細情報も掲載しております。



Google Play

3 チャレンジコース

人吉市、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、山江村、あさぎり町

全長:106km 獲得標高:1862m

人吉球磨の大自然を感じる起伏にとんだコース。春には市房ダム湖周辺の一万余本の満開の桜が見ごろ。



青井阿蘇神社

球磨人吉に暮らす人々からは親しみを込めて「青井さん」と呼ばれている青井阿蘇神社。2008年6月9日に、熊本県初の国宝指定建造物となった。日光東照宮や厳島神社と同様、社殿群全てが国宝となる例は珍しく、茅葺きの社寺建築が国宝指定されるのは全国初である。



妙見野自然の森展望公園

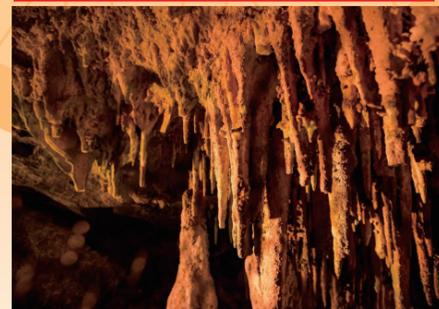
人吉・球磨盆地の絶景を一望できる展望所。冬の霧が濃い日には雲海も見ることができる(11月~2月)。毎年11月にはスカイスポーツのイベントが開催され、スカイスポーツファンからも注目の公園。他にも草スキーやキャンプも楽しめる。

4 球磨村めぐりコース

球磨村 標準コース全長:48km 標準コース獲得標高:1137m

豊かな自然に囲まれた球磨村を堪能できるコース。アップダウンが多いが、日本の棚田百選に選ばれた棚田の美しい景観や、長い歴史が生み出した自然の芸術品ともいわれる鍾乳洞などを楽しむことができる。

令和2年7月豪雨の影響で通行不可の箇所や通行が危険な箇所があります。最新情報はHPをご確認ください。



球泉洞

全長約4800メートルの鍾乳洞で、西日本では2番目(全国では3番目)の長さを誇る。3億年という年月を経てきた美しい石柱・石筍は、今も成長を続けている。500メートルの観光コースと、40メートルの縦穴などを階段で下る探検コースの2つが楽しめる。



松谷棚田

日本の棚田百選に選定されている。標高150mから250mの山腹には43段、105枚からなる大小さまざまな不整形の田が広がる。農村文化の原風景が残り、稲穂や霧など自然豊かな四季折々の姿を見ることができる。

5 五木村周回コース

五木村 全長:8km 獲得標高:135m

四季折々の周囲の山々の風景が楽しめるほか、かつて集落のあったエリアでは、エメラルドグリーンに染まる清流川辺川・五木小川の景色や、川辺川周辺でのバンジージャンプ、カヤック、釣りなどを楽しむ人たちの姿が見られる。

急峻な地形に起伏とカーブのある道はサイクリストを飽きさせない。コースを堪能した後は、五木温泉夢唄へ。



道の駅 子守唄の里五木 /五木物産館「山の幸」

五木村在来柑橘類「くねぶ」を使った加工品や3月・11月には原木栽培しいたけ、四季折々の農産物、鹿肉等を販売している。また、五木村の米で作った焼酎は村内でしか購入できないプレミアムなお酒。



五木村歴史文化交流館 ヒストリアテラス五木谷

五木谷に生きてきた人々の暮らしをさまざまな側面から紹介。山や清流川辺川とのかかわりを居心地のよい展示室で見ることができる。また、カフェでは地元の心づくしの料理でおもてなし。